

令和7年度 兵庫県農業気象技術情報第2号（6月情報）について

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

作物	地域	栽培上の留意点	対 応 策
水稲	県北	1 生育 移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。 中干しまでは浅水管理又は間断灌水を行い、中干しは遅れないようにする。ガスが湧いた場合は2、3日田干しを行う。 (1株当たりの分けつが15～17本になれば中干しを始める。)	
	県南	1 生育 現在、苗の生育は順調である。 田植え後は活着までやや深水管理し、その後、中干しまでは浅水管理又は間断灌水を行う。ガスが湧いた場合は2、3日田干しを行う。 除草剤処理期間中の深水はやむを得ないが、深水にすると徒長しやすいため、活着後の深水には十分注意する。	
	全県共通	1 病害虫 イネ縞葉枯病の発生が続いている地域では、同病の拡大を抑えるため、同病の媒介虫であるヒメトビウンカを、箱粒剤施用等によりの確に予防する。 スクミリンゴガイが発生している地域では、移植前後の対策を行う。詳細は「病害虫・雑草防除指導指針」の参考資料「スクミリンゴガイの生態と防除対策」(https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/documents/shishinsukumiringogai.pdf)を参照する。葉いもちは、移植後の早期発見に努め、「病害虫・雑草防除指導指針」を参考に適正に防除する。補植用苗は、葉いもちの発生源になるので、ほ場から早めに持ち出して処分する。兵庫県病害虫防除所ホームページにて公開されているBLASTAM情報(https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/blastam)を参考に葉いもちの初発に注意する。	
麦	全県共通	1 生育 小麦の成熟期は、平年並からやや遅れると予想されるので、適期収穫に努める。 出穂期はシロガネコムギで平年より6日遅く、開花期も遅れたことから、成熟期は平年よりやや遅れると考えられる。 2 病害虫 現在の発生状況は、うどんこ病、さび病類は平年並の発生である。赤かび病は全般的には平年並であるが、一部地域では感染が広がっているほ場も確認されている。成熟期にこれらの病害について、ほ場巡回調査を行い、発生状況を確認しておく。	1 生育 ほ場の排水を徹底する。 子実水分25%を目安に適期収穫に努める。 収穫作業をあまりに急ぎすぎて、コンバインの抜胴回転数を上げすぎないようにする。 湿害による枯熟れ、倒伏等があれば、刈分けを行う。 2 病害虫 赤かび病の拡大、カビ毒粒の混入を防ぐため、適期収穫に努めるとともに、見つかった場合は、収穫期の刈分け指示や荷受け時の仕分けなどを行う。 荷受け時の赤色粒で粒自体に光沢があり、表面がなめらかなもの（シワがない）は、アントシアン粒であることが多いのでよく確認する。 詳細は「稲・麦・大豆作等指導指針」を参照する。

大豆	全 県 共 通	1 栽培管理 排水対策を十分に行い、ほ場条件が良い時に播種できるよう準備する。	1 栽培管理 額縁明きょや排水溝を必ず設置し、排水対策を徹底する。 ほ場条件が良い時に適期播種を行う。								
		2 病害虫 健全種子を播種する。	2 病害虫 排水対策をしっかりと実施する。 播種前後の薬剤処理により、アブラムシ類等の防除を図る。								
キャベツ	全 県 共 通	1 栽培管理 (1) 降雨によるほ場の滞水を避ける。 (2) 降雨がなく土壌の乾燥が続く場合、球内にチップバーンを生じることがあるので注意する。 (3) 高温期は降雨等により球が急激に肥大し、裂球しやすい。	1 栽培管理 (1) 畝間の均平化や落水口への確実な連結により排水性を高める。 (2) 10日以上降雨がない場合、畝間灌水等を行う。作土が浅いほ場では特に土壌の乾燥に注意する。 (3) 球の締まり具合を確認しつつ順次収穫し、とり遅れないようにする。								
		2 病害虫 フェロモントラップ調査では、ヨトウガはやや少ない誘殺数で推移しているが、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウは平年並～やや多く、オオタバコガ、コナガは平年より多い誘殺となっている。特にハスモンヨトウ、オオタバコガ、コナガでは例年に見られない時期に明確な誘殺ピークが認められているため、今後の定着が懸念される。6月中旬以降、気温が高く、定期的な降雨があることが予想されているため、病害虫の発生に注意する。	2 病害虫 コナガの防除についての詳細は令和7年5月20日発表の「令和7年度病害虫発生予察防除情報第4号」(https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1339)を、同じくオオタバコガの防除についての詳細は令和7年5月20日発表の「同第5号」(https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1346)を、それぞれ参考にする。 薬剤防除は「病害虫・雑草防除指導指針」を参考に適正に実施する。								
果樹	全 県 共 通	1 生育 下表のとおり、昨年より遅めに推移しているが、樹種により差がある。	1 生育 生育状況に応じた栽培管理を行う。 生育のバラツキが大きい場合は、新梢管理や結実管理で調節する。 結実不良の樹は、摘果時に着果量確保に努める。								
		樹種別の生育状況 <table><tr><td>ブドウ※¹</td><td>開花期は昨年より1日遅く、平年に比べ2日早い。</td></tr><tr><td>クリ※¹</td><td>開花期は昨年より1日遅く、平年並み。</td></tr><tr><td>ナシ※²</td><td>開花期は昨年より3日遅く、平年に比べ2日遅い。</td></tr><tr><td>イチジク※¹</td><td>発芽は平年より2日遅く、展葉は平年に比べ3日遅い。</td></tr><tr><td>温州ミカン※³</td><td>開花期は昨年より7日遅く、平年に比べて1日早い。</td></tr></table>		ブドウ※ ¹	開花期は昨年より1日遅く、平年に比べ2日早い。	クリ※ ¹	開花期は昨年より1日遅く、平年並み。	ナシ※ ²	開花期は昨年より3日遅く、平年に比べ2日遅い。	イチジク※ ¹	発芽は平年より2日遅く、展葉は平年に比べ3日遅い。
ブドウ※ ¹	開花期は昨年より1日遅く、平年に比べ2日早い。										
クリ※ ¹	開花期は昨年より1日遅く、平年並み。										
ナシ※ ²	開花期は昨年より3日遅く、平年に比べ2日遅い。										
イチジク※ ¹	発芽は平年より2日遅く、展葉は平年に比べ3日遅い。										
温州ミカン※ ³	開花期は昨年より7日遅く、平年に比べて1日早い。										
※1 加西市 ※2 朝来市 ※3 南あわじ市											

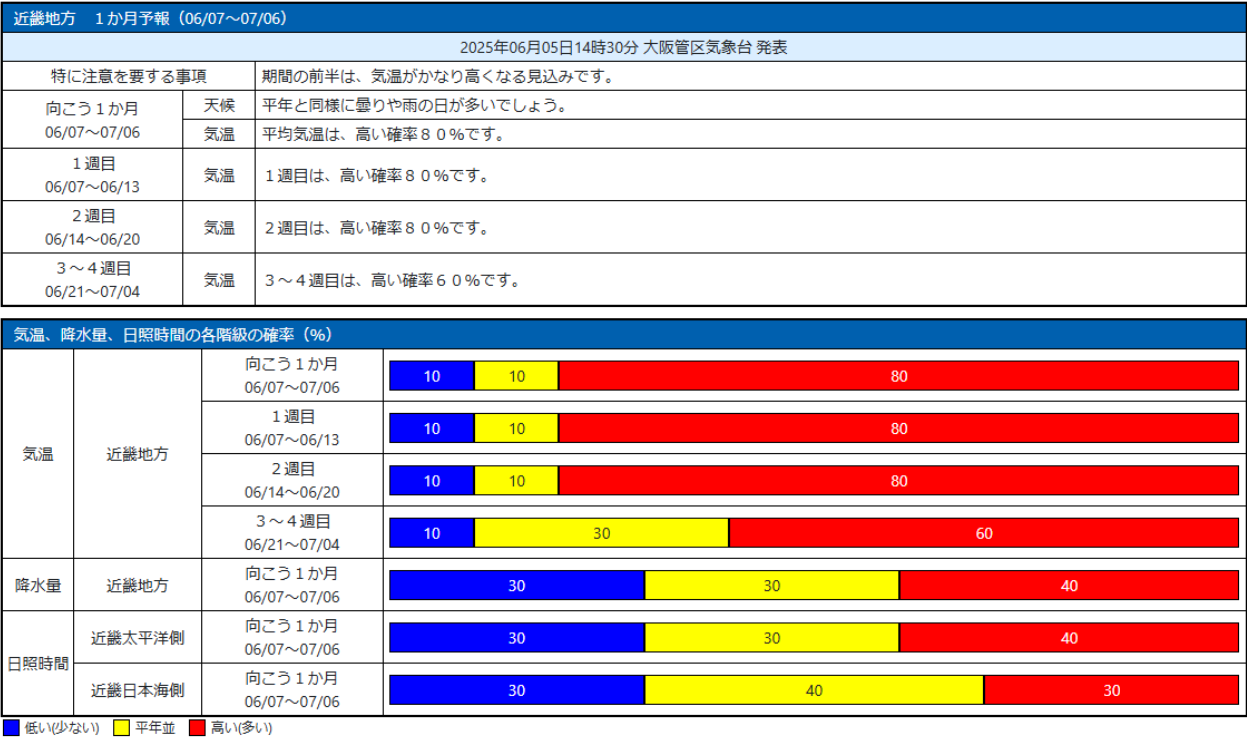
※1 加西市 ※2 朝来市 ※3 南あわじ市

	2 栽培管理 (1) 樹勢や生育状況に応じた着果管理に留意する。 (2) 果実肥大や着色を促すための栽培および土壌管理に留意する。 (3) ハウス栽培は、昼間の温度が高温になりすぎないように留意する。 (4) ナシ（北但地区）では受精不良や霜害、降雹の影響に注意した結実管理を行う。	2 栽培管理 (1) 樹勢が弱い場合は、着果量を減らす。 (2) 土壌が乾燥する場合は灌水を行う。特に苗木や幼木は、生育を促すため乾燥防止に努める。 (3) 換気により温度上昇を防ぐ。 (4) 変形果や障害果を見極めた摘果作業と、樹勢に応じた着果量の確保を行う。
	3 病害虫 現時点では、ブドウでは目立った病害の発生は認められていないが、ナシでは黒斑病の発生が平年並となっている。6月中旬以降、気温が高く、定期的な降雨があることが予想されている。これからの病害の発生に注意する。 果樹カメムシ類のフェロモントラップ調査では5月の誘殺数は並～少ない。今後、活動がさかんになるため、果樹園での発生に注意する。	3 病害虫 最新の病害虫発生予報を確認し、発生が懸念される病害虫の発生動向に注意し、適切な防除に努める。薬剤については「病害虫・雑草防除指導指針」を参考に適正に防除する。ナシ黒斑病は袋掛け前と梅雨期の防除を徹底する。 果樹カメムシ類の防除についての詳細は令和7年5月2日発表の「令和7年度病害虫発生予察防除情報第2号」 (https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1320)を参考に する。

- ◎ 水稻・麦・大豆の栽培については、「稲・麦・大豆作等指導指針」を、防除については「病害虫発生予察情報」及び「病害虫・雑草防除指導指針」を参考にすること。
- ※ 本情報は、6月9日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう1か月予報



(2) 近畿地方の向こう 3 か月予報

近畿地方 3 か月予報 (06月～08月)		
2025年05月20日14時00分 大阪管区气象台 発表		
06月～08月	気温	平均気温は、高い確率 60% です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率とともに 40% です。
06月	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率 60% です。
07月	天候	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率 50% です。
08月	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率 50% です。

気温、降水量の各階級の確率（％）					
気温	近畿地方	06月～08月	10	30	60
		06月	10	30	60
		07月	20	30	50
		08月	20	30	50
降水量	近畿地方	06月～08月	20	40	40
		06月	30	30	40
		07月	30	30	40
		08月	30	30	40

低い(少ない)

平年並

高い(多い)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

※ 気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い（少ない・平年並・多い）の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間（1991～2020 年）における各階級の出現率が 33% となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- ・「兵庫県病害虫防除所（病害虫発生予察情報）」
<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp>
- ・「病害虫・雑草防除指導指針」
<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>
- ・「兵庫県総合防除計画」
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>
- ・「稲・麦・大豆作等指導指針」
https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk12/af11_000000107.html

問い合わせ先

本情報に関すること

- ・兵庫県農林水産部農産園芸課

TEL (078)341-7711(代表)
 農産班:主作・機械担当 内線 79409
 農産班:野菜担当 内線 79410
 花き果樹班 内線 79411

技術内容に関すること

- ・兵庫県立農林水産技術総合センター

企画調整・経営支援部	TEL (0790)47-2435
農業技術センター 農産園芸部	TEL (0790)47-2410
農業技術センター 病害虫部	TEL (0790)47-1222
北部農業技術センター 農業・加工流通部	TEL (079)674-1230
淡路農業技術センター 農業部	TEL (0799)42-4880